

インターネット利用で豊かな心を伝え広げ合う電子絵本協同編集会議室の設計と運用研究 ～総合的な学習「オオサンショウウオ保護啓発プロジェクト」を通して～

中学校第1学年・総合的な学習の時間
岡山大学教育学部附属中学校 藤本 義博

<http://www.fuzoku.okayama-u.ac.jp/ml/kyouka/sougou/sougou.html>

キーワード 中学校, 総合的な学習の時間, インターネット, ネットミーティング, 環境, 交流, 協同学習, 絵本, 異年齢, 異校種, 異地域, 特別天然記念物, 絶滅危惧種, 貢献・寄与

1. はじめに

オオサンショウウオ保護啓発を促す電子絵本を, インターネット上に仮想的編集会議室を設置して共同作業を行う。本研究の目的は, この仮想編集会議室にメッセージングソフトを導入して, マネージャー(WindowsNT サーバ機)にアップした原稿のサイトにアクセスしている小学生や中学生どうしがチャット画面で会議を行えたり, また, 原稿ファイルの転送, 回収を行うことのできるリモートコミュニケーションの構築等を試行錯誤しながら, ネット上での編集・校正作業に適した設計と運用方法を明らかにすることである。

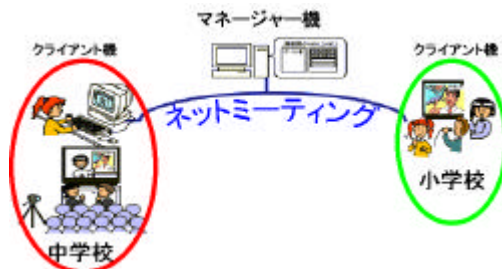


図1 電子絵本協同編集会議室

2. 電子絵本編集会議室の構想と研究授業

(1) 指導の考え方

電子絵本編集会議室の目的は, オオサンショウウオ保護啓発にあるが, その目的を達成する過程で, オオサンショウウオの生態や生活環境の文献および実態調査の方法を身につけさせたり, 小学生と協同で絵本の制作, 編集を行う中で絵本の評価を得ながらよりよいものを創造する能力態度を育成する。

(2) 指導計画

活動段階(時間)	学習活動とインターネットの関わり
a.目的設定(2)	第1次「オオサンショウウオを知ろう」 文献, インターネット, ビデオ, NHK 放送教材で調べたり, 研究者から直接お話を伺って国の特別天然記念物オオサンショウウオについて知る。
b.計画(2)	第2次「絵本制作の計画をたてよう」 興味や問題意識をもって具体的な絵本のテーマ(絵本で伝えたい内容と心・気持ち)を作る。
c.探究活動(4)	第3次「保護啓発のための資料を集めよう」 自らの絵本のテーマにそって, 対象年齢を設定し, わかりやすく興味をもてる表現のあり方を市販の絵本等から学び取る。文献, インターネット, ビデオ, NHK 放送教材で調べたり, 研究者の方に取材したり, 野外調査を行ってオオサンショウウオや絵本作りに関係していることについて更に深める。
d.表現活動 交流活動(12~)	第4次「小学生と交流学習を行いながら絵本を作ろう」 川についての環境学習を行っている学校とインターネットの電子メールで交流学習を行いながら, インターネット上に設置した仮想的編集会議室を活用して, 協同で電子絵本を制作していく。
e.交流活動 貢献・寄与(6)	第5次「完成した絵本を送ろう, ホームページで保護をよびかけよう」 協同で制作した電子絵本を保護区の学校へ送ったり, Web ページで保護をよびかけたりする。1年間の電子絵本創作の体験を一人一人研究レポートにまとめたり, 完成した電子絵本を教育委員会や教育センターの視聴覚ライブラリーに登録していただいて環境学習を行う学校に還元したり, 放送局や新聞社等のメディアを利用して社会一般にも保護を呼びかける。



図2 電子絵本の例



図3 ネットミーティング

(3) 研究授業案(第4次1時)

E スクエア・プロジェクト成果発表会

本時の目標	・インターネットのネットミーティングを利用して、附属小学校3年は組の児童36名に、特別天然記念物オオサンショウウオの絵本作りを紹介するオンライン交流を行い、絵本作りのために参考になった小学生の反応を例をあげて説明できる。 ・小学生と協同で絵本作りをすることの意欲を高めることができる。	
学習活動	指導上の留意点	備考
1. 交流学習のあいさつを行う。 2. 児童にオオサンショウウオを紹介するとともに、本時の交流学習の目的を確認し合う。 3. 制作途中の絵本を1枚ずつ紹介し、児童の質問に答えたり、感想をまとめる。 4. 附属小学校の児童が学んだことや興味関心がわいたこと疑問、感想などの発表を聞き、訪問児童との別れのあいさつをする。 5. 絵本作りのために参考になった小学生の反応を発表し合い、まとめる。	1. ネットミーティングでお互いにあいさつをし合う。 ・ 授業前に交流会場のコンピュータや電話等の機器の準備を確認しておく。 ・ 授業前後の自分自身の変容に気づくために、授業前に事前の気持ちをノートしておく。 2. 岡山県庁文化課に保護飼育許可済みのオオサンショウウオを交流の児童に紹介して、オオサンショウウオに対する興味関心を高めるとともに、感想を簡単に聞いてリサーチする。 ・ 制作途中のオオサンショウウオの絵本についての感想や改善点を指摘するモニターとしての役割を附属小学校の児童に説明する。 3. あらかじめ本校の Web ページの電子編集会議室に制作中の絵本を掲載しておく、互いに同じ電子編集会議室の絵本を閲覧しながら、ネットミーティングする。 4. 小学校の担任教師の司会のもとに本時の学習で学んだことを発表させる。 ・ 小学校の総合的な学習で取り組んでいる生き物の学習に関係していることを発表させ、絶滅の危機は野生生物共通の課題であることに気づかせる。 ・ 今後は協同で絵本作りをすることを提案した後、お別れのあいさつを生徒の司会進行で行う。 5. 児童に、制作意図がどの程度伝わったか、また改善をどのようにしていくのか簡単に発表させる。 ・ 生徒一人一人に絵本作りの今後の計画を簡単に紹介させる。 ・ 授業後の気持ちをノートし、授業前後の自分自身の変容を発表させ、今後の意欲を高める。	ネットミーティング可能なコンピュータ電話オオサンショウウオ事前ポトフォリオ Web 上の編集会議室 事後ポトフォリオ

3. ネットミーティングでの児童・生徒の反応

(1) 児童(小学3年生)の反応

1) オオサンショウウオ保護について

「いままでずっとオオサンショウウオがそんなに困っているとは思っていませんでした。これからオオサンショウウオを守っていきたくと思っています。」

2) 中学生との交流について

「絵だけでもすごいと思いました。(中学生と)友達になってみたいと思うし、いっしょに遊んだり勉強したいと思います。」

(2) 生徒(中学1年生)の反応

1) インターネットを利用した交流での生徒が指摘した留意点

- ・ ていねいに伝える。 ・ 的確に答える。 ・ 口々に伝えない。 ・ 親切にふるまう。
- ・ 大きな声ではっきりいう。 ・ 相手に伝わったかどうか確認する。

2) 今後の絵本作りで参考になったと生徒が指摘した留意点

- ・ 絵本の絵は細かいところまで気をつけて描く。例えば前足、後足の指の数など。

4. 成果と課題

小学生は中学生と一緒にオオサンショウウオを守るために絵本作りをしたいという気持ちを高めるとともに、中学生は、「小学3年生でも意外にすどくポイントを指摘するのびっくりした。オオサンショウウオのことをよくわかってもらうように一緒にがんばりたい。」と絵本作りの意欲をいっそう喚起することができ、インターネットを利用した絵本作りの協同学習の手応えをつかむことができた。しかし、現環境では、ネットミーティングに必要な通信速度が得られないため、音声は電話回線を併用するなど環境整備の面で障害も多い。今後は、通信速度の改善をはかりつつ、だれでもどこでも手軽に利用できる編集会議室の構築にあたりたい。